

令和 2 年度決算に係る  
定期 監 査 資 料

令和 3 年 5 月

倉吉総合看護専門学校

目 次

1	前年度指商事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指商事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指商事項に対する処理状況	1
3	職員の定員、現員調べ	1
4	役付職員の調べ	1
5	主な事業に関する調べ	2
6	収入証紙取扱い調べ	4
7	現金の取扱い状況	4
	(1) 現金取扱い状況	
	(2) つり銭の状況	
8	財産に関する調べ	4
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
9	財産の貸付及び使用許可調べ	4
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
10	借受不動産取扱い調べ	6
11	職員駐車場の管理状況調べ	6
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
12	寄附物件の受納状況調べ	7
13	備品の処分状況調べ	7
14	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	7
	(1) 亡失、損傷の報告状況	
	(2) 物品確認の実施状況	
15	当該年度における業務の概要	8
16	学生の入退学等異動状況調べ	10
17	学校卒業者の就職等状況調べ	10
18	教育計画とその実績	11
19	主な施設の整備状況調べ	11
○	意見、要望等	11

1 前年度指図書事項に対する措置等

(1) 指図書事項 該当なし

(2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指図書事項（口頭指図書を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

(令和3年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	当該年度	241 現在	当該年度	241 現在	当該年度	241 現在	当該年度	241 現在	
定員	2	2	20	20	0	0	22	22	
現員	2	2	(1) 19	(1) 20	0	0	(1) 21	(1) 22	育休1
過不足(△)	0	0	△1	0	0	0	△1	0	看護教員の不足
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	1	1	1	2	0	0	2	3	舎監1、助産学科補助 講師1

4 役付職員の調べ

(令和3年5月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
校長	(併) 皆川 幸久	4	1	本務 厚生病院長
副校長	西川 淳子	0	1	
教務課長兼教務主幹	古磯 祥子	1	1	通算8年1月
次長	松尾 稔	1	1	出納員
教務主幹	石尾 由美	1	1	通算17年1月
教務主幹	石前 紅子	0	1	通算8年1月

## 5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
倉吉総合看護専門学校管理運営費	31,152	-	-	19,037	12,115
将来ビジョン		-			
令和新時代創生戦略		-			
政策項目		-			
(概要)					
ア 目的及び事業の実施状況					
(ア) 目的					
○保健医療福祉分野で看護師、助産師として活動できる学生の確保及び育成を行う。					
(イ) 事業の実施状況					
1. 学生確保					
○県内の高等学校及び看護師養成施設（准看護師養成施設を含む。）全てに学校案内及び入学試験案内を送付した。新型コロナウイルス感染症の拡大時期にあり、中部地区の高等学校等7施設のみ訪問を実施し、入学実績のある中部地区以外の高等学校には進路希望状況を電話で確認した。					
○一般入学試験については感染防止対策を講じ、試験日を1日から2日間に変更する等、受験生が安全に受験できる運営を実施した。					
2. 看護師、助産師の育成					
○計画的な模擬試験及び国家試験対策の実施					
○定期的な個別面談による学習指導と進路指導					
○対面以外の方法での計画的な実習指導者会議の実施					
○新型コロナウイルス感染症に対応した学校運営を行い、必要な単位を履修できる教育体制の整備					
イ 令和2年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点					
1. 学生確保					
○助産学科の県内志願者増加に向け、学校推薦の人数制限を無くし、推薦基準を満たす者は複数でも推薦可能に変更して2年目となる。看護師養成施設へも案内し、志願者が増加した。					
○新型コロナウイルス感染症の拡大でオープンキャンパスを中止した。その代わりに、学校の施設案内や在校生のメッセージをホームページに掲載し、学校のPRを行った。ホームページのアクセス数が前年度より増加した。					
○新型コロナウイルス感染症のため実習延期、実習の受入れ中止が生じた。実習施設に対して学校の感染予防対策を説明し、かつ実習施設の行動指針を遵守することで、実習時期の変更や期間を短縮しての実習が可能となった。短縮された実習時間は学内実習を組み合わせ、実習目標を達成し必要な単位の履修ができた。					
ウ 成果及び効果					
1. 学生確保					
○第1看護学科志願者数は減少したが、入学生は35名（定員35名）と定員を確保できた。					
助産学科志願者数は増加し、入学生は16名（定員16名）と定員を確保できた。					
第2看護学科志願者は増加し、入学生は17名（定員20名）となった。					

【過去5年間の入学試験志願者数】

年 度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
令和3年度	52	89	17
令和2年度	31	118	12
平成31年度	50	104	30
平成30年度	45	118	28
平成29年度	36	96	31

2. 看護師、助産師の育成

○国家試験の合格率は、助産学科は100%合格、第2看護学科は100%合格、第1看護学科は93.7%であった。

【令和2年度卒業生 国家試験合格状況】

学 科	受験者数 (人)	合格者数 (人)	本校合格率 (%)	全国合格率 (%)
助産学科	16	16	100	99.6
第1看護学科	32	30	93.7	96.0
第2看護学科	21	21	100	95.5
既卒者(第1看護学科)	1	0	0	52.6

工 課 題

1. 学生確保

- ①第1看護学科は志願者数、受験者数ともに減少したが、入学者は定員35名を確保できた。今後も県内の高等学校の進学状況を把握し、定員確保に努める。
- ②第2看護学科は、県内の准看護師養成施設の閉校等の影響もあり、志願者数が募集定員を下回る状況が続いている。令和3年度の受験者数は17名と、県外の学生が受験したことで前年度よりは受験者数が増加したが、県内の准看護師養成施設の在校生数の状況を考慮すると、今後も定員の確保はさらに厳しいと予想される。社会人入学試験制度の見直しや、既卒者で進学の希望を持つ者にも入学試験の状況が伝わるような広報等に取り組み、定員確保に努める。

6 収入証紙取扱調べ  
 (有) 無

7 現金の取扱状況  
 (1) 現金取扱状況

(令和3年5月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
衛生手数料	128,240	51	看護師等養成施設試験手数料、看護師等養成施設卒業証明書発行手数料
合計	128,240	51	

(2) つり銭の状況

(令和3年5月31日現在)

つり銭の有無	つり銭の額(円)
無	-

8 財産に関する調べ  
 (1) 公有財産  
 了 土地

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	倉吉総合看護専門学校	倉吉市南昭和町15	11,220.88	234,245,095	増加	R			R	11,220.88	234,245,095		
計			11,220.88	234,245,095						11,220.88	234,245,095		
普通財産	該当なし				増加	R			R				
合計			11,220.88	234,245,095	減少	R			R				
			11,220.88	234,245,095						11,220.88	234,245,095		

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動 日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減 理由	登 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)		
行政財産	倉吉総合看護専 門学校	倉吉市南昭 和町15	5,959.64	645,676,016	増加 R	R						5,959.64	645,676,016	
計			5,959.64	645,676,016	減少 R							5,959.64	645,676,016	
普通財産	該当なし				増加 R	R								
合計			5,959.64	645,676,016	減少 R							5,959.64	645,676,016	

ウ 山林 該当なし  
 エ 動産 (船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし  
 オ 物権 該当なし  
 カ 無体財産権 (特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし  
 キ 有価証券 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有・無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和3年3月31日現在)

前年度末未使用枚数	本 年 度 中		本年度末未使用枚数
	購 入 枚 数	使 用 枚 数 及 び 金 額	
87枚	500枚	254枚	333枚
		246,500円	

9 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地 該当なし

イ 建物

(令和3年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	図書室 複写機 設置	倉吉市南昭和町15	0.40㎡	R2.3.6	H20.4.1	R2.4.1~ R3.3.31		全額免除	倉吉市南昭和町15 鳥取県立倉吉総合看護専門学校後援会 会長 泉 孝子		
計								0			
普通財産	該当なし										
計								0			
合計								0			

(2) 物品 該当なし

10 借受不動産明細調べ 該当なし

11 職員駐車場の管理状況調べ

(1) 管理状況

(令和3年3月31日現在)

財産の区分	所在地	1区画の面積(㎡)	貸付(使用)料(月額)(円)
行政財産	倉吉市南昭和町15	9.9	4,000
普通財産	該当なし		

(2) 減免の考え方 該当なし(減免していない。)

(3) 使用料の見直し

令和元年9月3日実施



1 2 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

1 3 備品の処分状況調べ

(令和3年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管換年月日) 取得年月日	不用決定 年月日	処 分					備 考
			売払棄 却の別	売払方法・ 棄却理由	処分 年月日	売払 額	処分 費用	
モデル人形京子	H10. 3. 10	R2. 8. 20	棄却	老朽化によ り使用不可	R3. 2. 26	円 0	円 0	
モデル人形けいこ (京都科学)	S61. 5. 26	R2. 8. 20	棄却	老朽化によ り使用不可	R3. 2. 26	0	0	
女性導尿シミュレ ーター(坂本モデル M166-1)	H22. 11. 11	R2. 8. 20	棄却	破損により 使用不可	R3. 2. 26	0	0	
モデル人形(坂本モ デル M100)他	H22. 11. 11他	R2. 8. 20	棄却	破損・老朽 化により使 用不可	R3. 2. 26	0	0	
プリンター(イプシ オNX600)他	H11. 1. 14他	R2. 11. 4	棄却	破損・老朽 化により使 用不可	R3. 2. 26	0	0	
合 計						0	0	

1 4 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 亡失、損傷の報告状況

有 ・  無

(2) 物品確認の実施状況

有 ・ 無

## 15 当該年度における業務の概要

### (1) 学校のPR、地域貢献（主な事業に記載）

学校のPR、地域貢献を積極的に行い、学生の確保を図る。

- ホームページに学校案内やQ & Aを追加した。
- 県内高校・看護学校へ学校PRのために中部地区に限定して訪問（施設数：7施設）
- 新型コロナウイルス感染症拡大により、東部と西部への訪問が実施できなかったため、入学実績のある高等学校（9校）に進路希望状況を電話で確認した。
- 社会人入学制度PRのため、県庁県民室や看護協会等への資料設置依頼
- 教員による小学生等への健康教育の実施 2回
- 志願者数（推薦・社会人を含む。）の状況 （単位：人、（ ）内は定員）

年度	助産学科	第1看護学科	第2看護学科
H26	55 (16)	108 (35)	38 (20)
H27	39 (16)	81 (35)	53 (20)
H28	36 (16)	76 (35)	41 (20)
H29	36 (16)	96 (35)	31 (20)
H30	45 (16)	118 (35)	28 (20)
H31	50 (16)	104 (35)	30 (20)
R2	31 (16)	118 (35)	12 (20)
R3	52 (16)	89 (35)	17 (20)

### ○推薦入試・社会人入試の状況 （単位：人）

学 科	推薦入学試験			社会人入学試験		
	募集	推薦者	合格者	募集	志願者	合格者
助産学科	6	7	6	3	6	1
第1看護学科	20	23	16	—	—	—
第2看護学科	2	1	1	3	3	3

### (2) 看護教育の充実

#### ①看護学科

- 第2実習室の教材配置を整備したことで、学内実習に対応できた。また臨地実習前の自主的な技術練習につながった。
- ルーブリック評価を活用し、実習中の学習課題と指導内容の明確化につながった。
- 授業方法の工夫では、ポートフォリオを取り入れ、学生の主体的学習内容の把握につながった。

#### ②助産学科

- 臨地指導者（助産師、産科医師）と連携した学内演習の充実により、助産技術の習得につながった。
- 地域貢献活動（いのちの教育、育児ミニ講座）の実施で指導技術の強化につながった。

### (3) 教育環境の整備

- 新型コロナウイルス感染対策として、遠隔授業ができるよう各教室に有線ランケーブルを整備することにより、対面での授業・遠隔授業を効果的に実施し学修機会の確保につながった。

### (4) 実習体制の整備

実習体制を整備し、教育内容の充実を図る。

- 実習指導者会は、書面を回覧する方法に変更し、年4回実施した。書面を通じて指導者と学生指導に関する情報交換を実施し、指導内容の充実を図った。
- 助産学科は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、東部に依頼していた実習を中止し、中部のみで実習を行う方針とした。実習施設と調整して実習配置を全て変更し、実習指導者と連携して助産技術の習得を図った。
- 看護学科は、新型コロナウイルス感染症の拡大で、計画していた実習が実習受入れ中止や延期となったため、学則時間の3分の2を臨地実習、3分の1を学内実習とした。臨地実習時間が短縮されたが、実習指導者と連携し、実習到達目標の達成と実践力育成につながった。

(5) 国家試験対策の強化

国家試験対策として、計画的に特別講義や模擬試験を実施した。

【参考：令和2年度国家試験合格状況】

学 科	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)	全国合格率(%)
助産学科	16	16	100.0	99.6
第1看護学科	32	30	93.7	90.4
第2看護学科	21	21	100.0	

(6) その他の教育

○人権教育の実施（看護学科）

ア 研修旅行（長島愛生園見学）は中止し、ハンセン病療養所語り部証言集（長島愛生園）等のDVDを活用して人権研修を実施

イ 人権関係講義の実施

講演：「SNSと個人情報」

講師：鳥取県ケータイ・インターネット教育推進委員 法務省人権擁護委員 今度珠美

実施日：5月13日（水）

対象：新入生61名

ウ 人権社会論 聴覚障害とコミュニケーション技術（手話）の理解

講師：聴覚障害者協会

対象：第1看護学科1年生32名及び第2看護学科1年生10名

○専門的学術集会等への参加

第76回日本助産師学会（Web開催5月30日）本校情報処理室で視聴 助産学科学生16名

(7) スクールカウンセラーの配置（平成19年度から配置）

毎週月曜日 午後4時～5時30分 利用者数 実人員11人 延べ44人(R3.3月現在)

(8) 教員の研究・地域貢献活動等

①鳥取県立厚生病院院内研修

講師：教務課長兼教務主幹 古磯祥子

テーマ：「学生指導」

日時：令和2年7月21日（火）

対象：鳥取県立厚生病院看護職 20名

②鳥取県立厚生病院院内看護研究支援

講師：講師 初田玲子

日時：令和2年4月25日（土） 指導対象 10題

令和2年8月29日（土） 指導対象 11題

令和2年11月28日（土） 指導対象 8題

令和3年1月19日（火） 講評 8題

③鳥取県立中央病院院内看護研究支援

講師：講師 初田玲子

日時：令和3年3月6日（土） 講評 16題

16 学生の入退学等異動状況調べ

(単位：人) (令和3年3月31日現在)

区分	入学進級直後の学生数	月別異動状況												差引現在数	備考				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			計			
第1看護学科	第1学年	休学																33	
		退学	3	5	1	1										2			
		復学																	
	第2学年	休学																26	
		退学	2	7							1					1			
		復学																	
	第3学年	休学																32	
		退学	3	4	1		1		1							1			
		復学														2			
第2看護学科	第1学年	休学															9		
		退学	1	0												1			1
		復学																	
	第2学年	休学															21		
		退学	2	1															
		復学																	
助産学科	休学	退学															16		
		復学	1	5												1			
		除籍																	
合計	休学	1														1	137		
	退学	1	4	2											1				
	復学														6				
	除籍														2				

17 学校卒業者の就職等状況調べ

(単位：人) (令和3年3月31日現在)

区分		就職						計	進学	その他	合計	備考
		県内			県外							
		公的医療機関	民間医療機関	その他	公的医療機関	民間医療機関	その他					
第1看護学科	平成30年度	8	6	-	-	5	-	19	5	1	25	
	令和元年度	13	10	-	2	1	-	26	4	-	30	
	令和2年度	8	10	-	2	6	-	26	4	2	32	
第2看護学科	平成30年度	7	11	-	1	-	-	19	-	-	19	
	令和元年度	3	16	-	-	-	-	19	-	-	19	
	令和2年度	4	14	-	-	1	-	19	1	1	21	
助産学科	平成30年度	4	2	-	4	5	-	15	-	-	15	
	令和元年度	4	3	-	2	6	-	15	-	-	15	
	令和2年度	4	1	-	9	2	-	16	-	-	16	
合計	平成30年度	19	19	-	5	10	-	53	5	1	59	
	令和元年度	20	29	-	4	7	-	60	4	-	64	
	令和2年度	16	25	-	11	9	-	61	5	3	69	

18 教育計画とその実績

(単位：時数) (令和3年3月31日現在)

学科名等			基準	第一学年		第二学年			第三学年		
				計画	実績 A	計画	実績 B	計 A+B	計画	実績 C	計 A+B+C
第1 看護 学科	第1学年	学 科	990	990	996						
		実習課程	135	135	135						
	第2学年	学 科	750			750	756	1,752			
		実習課程	315			315	315	450			
	第3学年	学 科	225						225	226	1,978
		実習課程	585						585	585	1,035
第2 看護 学科	第1学年	学 科	1,185	1,185	1,186						
		実習課程	135	135	135						
	第2学年	学 科	285			285	285	1,471			
		実習課程	585			585	585	720			
助産 学科	学 科	600	600	602							
	実習課程	495	495	531							

19 主な施設の整備状況調べ

(令和3年3月31日現在)

施設名	取得・造成・新築・ 改築・修繕等の別	面積又は 数量	取得等の年月日・ 工事期間	金 額	備考
遠隔授業対応光回線配線 工事	修繕	一式	R2.6.8	484,880 円	
機械室ボイラー配管漏水 修理	修繕	一式	R2.11.16	141,900	
ルーター更新に伴う修繕	修繕	一式	R2.8.18	128,480	

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等 特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等 特になし

